

## ネイティブポーシン・クレアチン・ホスホキナーゼ

Cat. No. NATE-1869

Lot. No. (See product label)

## はじめに

*□明* 

クレアチンホスホキナーゼ(CPK)は広く分布しており、主に収縮および輸送システムとともにATP再生に関与しています。この酵素は二量体であり、三つのアイソザイム形式(MM(筋肉)、MB(心臓)、BB(脳))で存在します。ウサギの筋肉からのCPKの分子量は81,000です。ハイブリッドアイソザイム(MB)は心筋において最も高い濃度を持っています。したがって、このアイソザイムの血清CPKレベルの測定は、心筋梗塞の診断のための敏感な指標として使用されています。心臓手術直後の患者の血清中でCPKのBBアイソザイムのレベルが上昇していることが報告されています。血清中のCPK-BBレベルは、手術後4日目までに正常に $\Box$ りました。これは、心臓患者における血清CPK-MBアイソザイムのレベルよりも、より敏感な診断ツールである可能性があります。

別名

EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; MM-CK; MB-CK; BB-CK;  $\rho$ レアチンキナーゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-クレアチン転移リン酸化酵素; Mi-CK; CK-BB; CK-MM; CK-MB; CKMiMi; MiMi-CK; 9001-15-4; クレアチンキナーゼ

## 製品情報

種 豚の

**由来** 豚の心臓

*形態* フリーズドライ粉末

**EC**番号 EC 2.7.3.2

**CAS**登□番号 9001-15-4

純度 0.95

**活性** >300 U/mg タンパク質

**溶解度** 蒸留水または希釈バッファ

*単位定義* pH 6.9および25°Cで、ホスホクレアチンからADPに1マイクロモルのリン酸を転送する酵素

の量。

保管・発送情報

**保存方法** -20° Cで保管してください